

# 〈株式についてのご案内〉

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月下旬開催
■ 剰余金の配当の基準日	○ 期末配当実施の場合……3月31日 ○ 中間配当実施の場合……9月30日
■ 単元株式数	1,000株
■ 公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="http://www.krosaki.co.jp/">http://www.krosaki.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
■ 上場金融商品取引所	東京(第一部)・福岡

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

■ 株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
■ 株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-176-417 受付時間/平日 9:00~17:00 インターネットホームページURL <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しています。

(電話照会先) ☎0120-707-843 (受付時間/平日9:00~17:00)

## >> ホームページのご案内



● 黒崎播磨ホームページ  
会社情報は当社のホームページからご覧いただけます。  
黒崎播磨ホームページアドレス  
<http://www.krosaki.co.jp/>



● IR情報サイト  
IR情報サイトもリニューアル。見やすさが向上、内容も充実しました。  
ホームページ ▶ 株主・投資家情報

# 株主のみなさまへ

## 第119期 ご報告

〈平成21年4月1日から平成22年3月31日まで〉

株主のみなさまへ、第119期のご報告を申し上げます。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの第119期の概況と取り組みについてご報告申し上げます。

また、『**サバイバル&成長**』をスローガンとして策定いたしました第9次中期経営計画についてもご説明しておりますので、ぜひご一読ください。

当社グループは、事業目標である『**世界一の顧客価値の実現**』に向けて、お客様と課題を共有し、その解決のためのソリューションを提供し続けてまいります。

併せて、当社グループの事業価値向上のために、成長のための施策を強化、推進いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 濱本康男

### ■ 第9次中期経営計画について

当期においては、当社グループの存続を賭けて、コストの更なる削減やたな卸資産の圧縮といった緊急対策を実行したことにより、リーマンショック後の危機は乗り切ったものの、国内市場の縮減と新興国市場の拡大、競争会社の規模拡大による競争力の強化等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増しており、構造的な危機は継続しています。

このような状況下、『**サバイバル&成長**』をスローガンとして、平成22年度及び平成23年度を実行期間とする第9次中期経営計画を策定いたしました。

第9次中期経営計画においては、6つの重点課題を設定しています。これらの課題に取り組むことにより、高級耐火物分野で世界一の技術力・ソリュー

ション力を持った高収益企業を目指すとともに、国内粗鋼生産量に左右されずに収益を生み出せる企業体質への改善を図ります。

#### 【第9次中期経営計画の重点課題】

- ① 耐火物総合ソリューションの深化・拡大
- ② グローバル展開の拡大、成長・ビジネスチャンスの創出
- ③ 国内外生産・販売体制の一層の効率化
- ④ 耐火物原料の安定調達の強化
- ⑤ 耐火物以外の事業は成長領域・シナジー期待領域への展開強化
- ⑥ 生産性の向上と経営資源の効率的な活用

### ■ 第120期の見通し

今後の耐火物需要については、当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の生産動向等、先行きの不透明感が依然強い状況です。

このような状況下、国内での収益構造の強化とグローバル展開の強化に取り組むことより、第120期の業績見通し(連結)については、現時点では、

売上高は857億円、営業利益は40億円、経常利益は39億円と、増収増益を見込んでいます。当期純利益については、第119期においては連結子会社の工場用地の譲渡益等計上という特殊要因があったことから、第120期は24億円と、減益を見込んでいます。

## 業績とセグメント別の概況

### ■ 業績の概況

#### 【売上高】

当期の後半において粗鋼生産量の回復に伴う耐火物需要の増加がありました。前半の落ち込みの影響が大きく、売上高は、前期に比べ14.0%減収の828億74百万円となりました。

#### 【損益】

売上高減少の影響を受けましたが、原材料・調達品価格、労務費等の削減に向けた各種取り組みを継続して実施したことにより、第2四半期までの営業損失、経常損失が、通期に利益に転じました。営業利益は、前期に比べ18.7%減益の29億35百万円、経常利益は、前期に比べ3.4%減益の30億20百万円となりました。

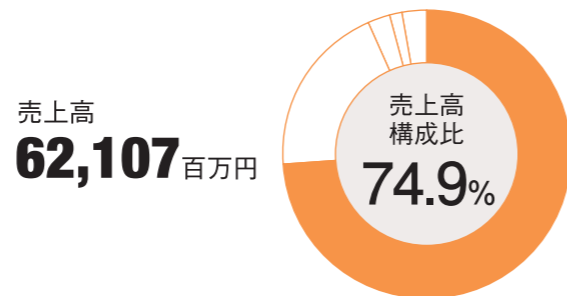
また、前期には、当社保有上場株式の減損処理による投資有価証券評価損の計上があったのに対し、当期には、連結子会社の工場用地の譲渡益等を計上したため、当期純利益は39億67百万円（前期は28億79百万円の当期純損失）となりました。

この結果、8期ぶりの減収ではありましたが、2期ぶりで、かつ過去最高額の当期純利益計上となりました。

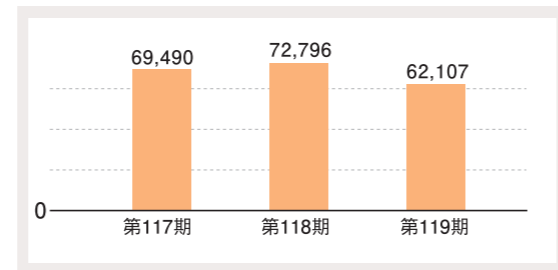
第119期の期末配当金につきましては、当期純利益計上の要因を踏まえて、前期実績より1株当たり1円増額の3円とさせていただきます。

### 耐火物事業

#### 耐火物需要減により減収減益



売上高の推移(単位:百万円)



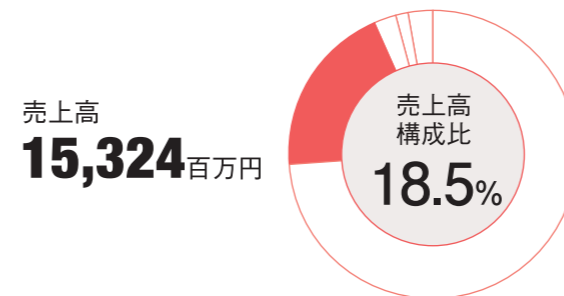
耐火物需要の減少により、売上高は前期に比べ14.7%減収の621億7百万円となりました。コスト削減のための各種取り組みを継続して実施した結果、第2四半期までの損失が通期に利益に転じ、営業利益は前期に比べ16.2%減益の29億33百万円となりました。



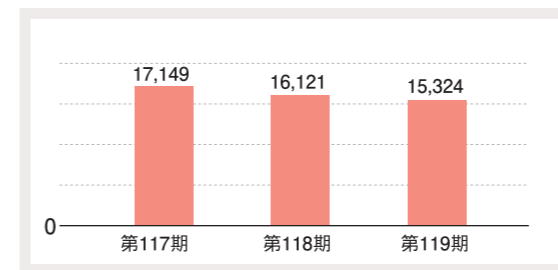
各種の耐火物製品

### 築炉事業

#### 工事案件の利益率改善



売上高の推移(単位:百万円)



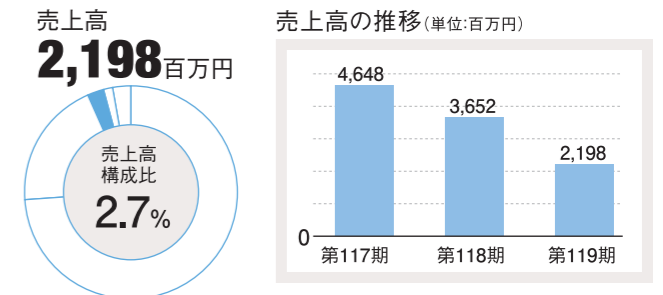
大型築造工事案件の売上計上の減少等により、売上高は前期に比べ4.9%減収の153億24百万円となりました。コスト削減のための各種取り組みの継続実施のほか、工事案件の利益率改善により、営業利益は前期に比べ21.0%増益の13億81百万円となりました。



当社設計の工業炉  
(プッシャー式ピレット連続式圧延加熱炉)

### ファインセラミックス事業

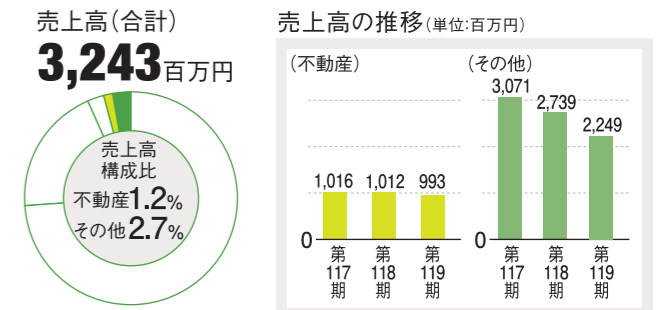
#### 半導体製造装置業界の低迷により減収



主力ユーザーである半導体製造装置業界の市場環境は回復傾向を示しているものの、前半の落ち込みの影響が大きく、売上高は前期に比べ39.8%の減収となりました。

### 不動産事業、その他の事業

#### 減収の一方、コスト削減により増益



売上高は前期に比べ13.6%の減収となりましたが、コスト削減のための各種取り組みを継続して実施した結果、営業利益は16.0%の増益となりました。

TOPICS 1

平成22年4月1日

## ファインセラミックス事業の単独事業化

当社は、ファインセラミックス事業において、新日鉄マテリアルズ(株)と共同事業を展開してきました。

この度、新日鉄グループにおけるファインセラミックス事業の体質を強化し、今後とも顧客の負託に応える事業とするために、今年度より当社の「製造・販売・開発」一貫運営の単独事業としました。

今後は、共同事業において半導体製造装置用分野で培ってきた技術力を更に発展させるとともに、製鉄向け大型形状製品やエネルギー・環境分野等への積極的展開を進めます。また、従来から共同事業と並行して運営してきた当社独自のファインセラミックス事業との一体運営により一層の効率化を推進し、当社のファインセラミックス事業の更なる強化を図ります。



XYステージ(サイアロン製)  
携帯電話のカメラ用非球面レンズの  
金型加工機向け



ギヤピッチマスター  
("NEXCERA"®ゼロ膨張セラミックス製)  
自動車用の歯車などのピッチを測定する  
際の基準器



リブミラー(サイアロン製)  
光学機器(レーザー測定器や天体望遠鏡  
など)用の軽量反射ミラー(裏面)

TOPICS 2

平成22年4月1日

## 国内連結子会社3社の統合(黒崎播磨セラコーポ(株)の発足)

コンパクトなグループ体制を構築するとともに、経営資源の集約による経営の安定化および管理コストの削減を図るため、国内連結子会社(株)K&K、黒崎機工(株)、黒崎産業(株)を3社合併により統合しました。

これにより、耐火物の製造、耐火物製造設備の製作・メンテナンス等、当社グループの中核を担う新会社「黒崎播磨セラコーポ(株)」が新たな一歩を踏み出しました。

TOPICS 3

平成22年3月10日

## スペイン連結子会社 AMRの新工場竣工

スペインにある連結子会社AMR Refractorios,S.A.は、所在地自治体(ギブスコア県エルナニ市)の土地区画整理事業に基づく土地収用に応じ、旧工場用地を県開発公社に譲渡し、同市内に新工場用地の提供を受けました。

最新鋭の設備を備え、環境に配慮したエコ推進型の新工場の建設に平成19年12月より取りかかり、今年3月、待望の竣工式を迎えました。黒崎播磨グループの欧州における主要供給拠点として今後ますますの活躍を期待しています。



「100年に一度の飛躍のチャンス」として生まれ変わった新工場

# 連結財務諸表(要約)

## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期末 (平成22年3月31日)	前期末 (平成21年3月31日)	科目	当期末 (平成22年3月31日)	前期末 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
① 流動資産	42,289	43,333	② 流動負債	28,353	39,787
固定資産	43,947	39,950	固定負債	24,658	16,680
有形固定資産	30,145	30,688	負債合計	53,011	56,468
無形固定資産	687	567	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	13,114	8,694	株主資本	30,015	26,228
繰延資産	43	—	評価・換算差額等	2,203	△ 440
資産合計	86,280	83,284	少数株主持分	1,049	1,028
			純資産合計	33,269	26,815
			負債純資産合計	86,280	83,284

(金額は単位未満を切り捨てています。)

## 第119期連結財務諸表のポイントと解説

### ポイント①

#### 流動資産、営業活動によるキャッシュ・フロー

当社グループ丸となってたな卸資産の圧縮に取り組んだ結果、流動資産が減少し、営業活動によるキャッシュ・フローが増加しました。

### ポイント②

#### 流動負債、財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の削減を進めたことにより、流動負債が減少し、財務活動によるキャッシュ・フローが前期の収入から支出となりました。

### ポイント③

#### 当期純利益

前期は投資有価証券評価損を計上したのに対し、当期は連結子会社の工場用地の譲渡益等を計上したため、2期ぶりで、かつ過去最高額の当期純利益計上となりました。

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
売上高	82,874	96,322
売上原価	67,828	79,770
売上総利益	15,045	16,552
販売費及び一般管理費	12,110	12,940
営業利益	2,935	3,611
営業外収益	865	686
営業外費用	780	1,171
経常利益	3,020	3,126
特別利益	4,191	528
特別損失	640	8,101
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	6,570	△ 4,446
法人税等合計	2,487	△ 1,648
少数株主利益	115	81
③ 当期純利益又は当期純損失(△)	3,967	△ 2,879

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

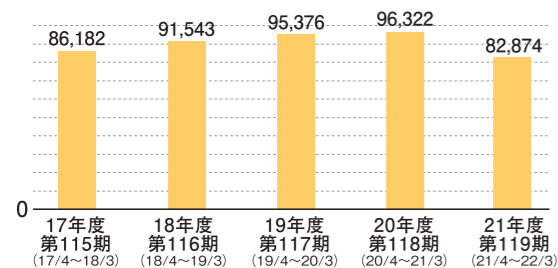
科目	当期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,668	3,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,206	△ 14,173
② 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,535	12,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,083	1,531
現金及び現金同等物の期首残高	4,342	2,766
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	44
現金及び現金同等物の期末残高	3,258	4,342

(金額は単位未満を切り捨てています。)

## 連結決算ハイライト

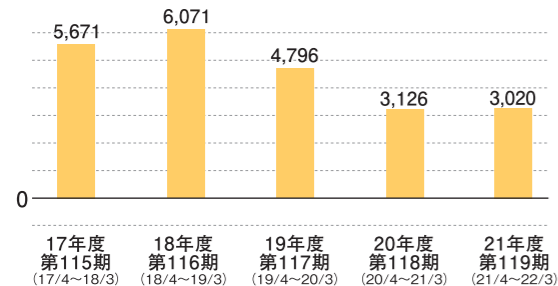
### 売上高の推移

(単位:百万円)



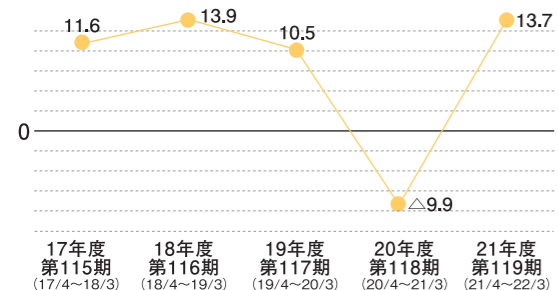
### 経常利益の推移

(単位:百万円)



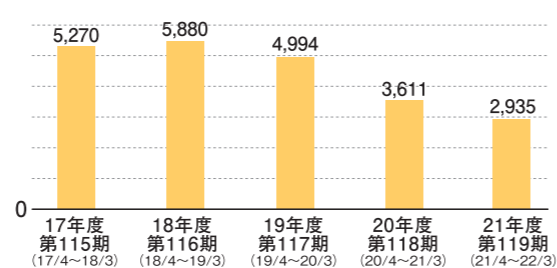
### ROE(自己資本当期純利益率)の推移

(単位:%)



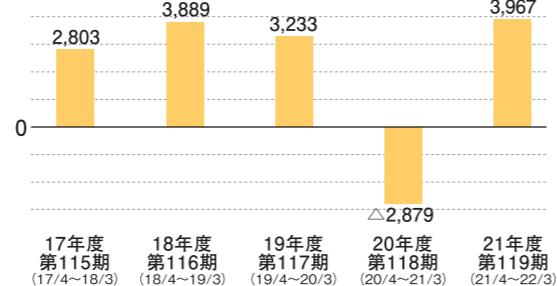
### 営業利益の推移

(単位:百万円)



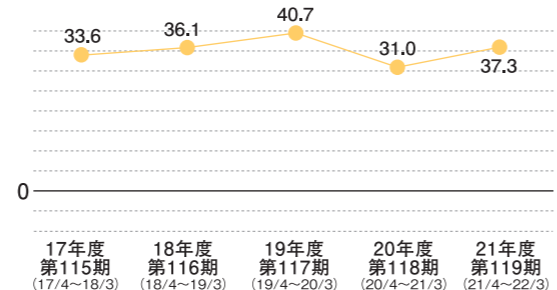
### 当期純利益の推移

(単位:百万円)



### 自己資本比率の推移

(単位:%)



## 会社概要及び株式の状況 (平成22年3月31日現在)

### 会社概要

商号	黒崎播磨株式会社
本社所在地	北九州市八幡西区東浜町1番1号
設立	大正7年10月14日
創業	大正8年6月1日
資本金	5,537,960,000円

### 株式の状況

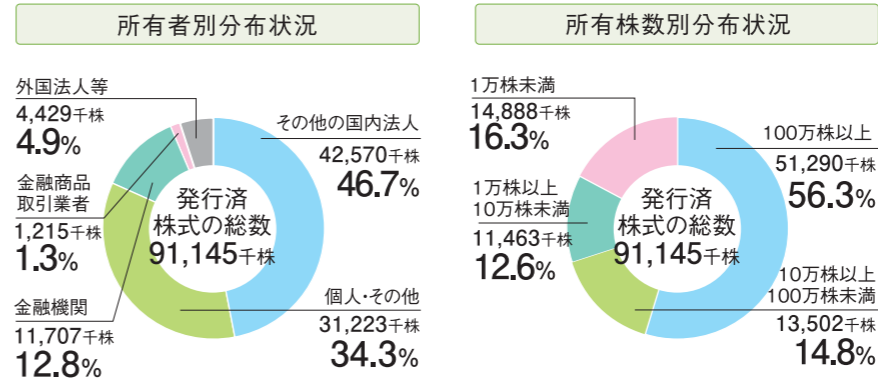
発行可能株式総数	350,000,000株
発行済株式の総数	91,145,280株
株主数	10,270人

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日本製鐵株式会社	39,080	42.9
株式会社福岡銀行	1,859	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,381	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,265	1.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,024	1.1
CBHK-KOREA SECURITIES DEPOSITORY	910	1.0
日本生命保険相互会社	898	1.0
財団法人日本製鐵八幡共済組合	860	0.9
メリルリンチ日本証券株式会社	757	0.8
東邦瓦斯株式会社	708	0.8

\*当社は自己株式6,680千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。

### 株式の分布状況



### 役員

#### 取締役及び監査役

取締役社長*	浜本 康男
取締役副社長*	多喜田 一郎
取締役相談役	古野 英樹
取締役	上田 裕二郎
取締役	常岡 聡
取締役	黒田 浩太郎
取締役	石丸 誠
取締役	田中 靖人
常勤監査役	丸田 惠一
監査役	佐野 正博
監査役	赤木 誠
監査役	武井 紘一

(注) \*印は代表取締役です。

#### 執行役員

専務執行役員	上田 裕二郎
常務執行役員	原田 力
常務執行役員	常岡 聡
常務執行役員	黒田 浩太郎
常務執行役員	石丸 誠
常務執行役員	田中 靖人
執行役員	桂 裕氏
執行役員	吉村 正
執行役員	中込 倫路
執行役員	小淵 政和
執行役員	高田 秀三
執行役員	坂根 淳一
執行役員	加山 恒夫
執行役員	小田原 博